

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東京インキ㈱大阪工場第Ⅱ工場	階数	地上3F
建設地	枚方市春日野町1丁目	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年5月8日
敷地面積	7,136㎡	作成者	池堂 成年
建築面積	926㎡	確認日	
延床面積	2,202㎡	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
今回は既設の工場の敷地に別棟にて工場を新築する計画なので、新築の建築物に対するスコアを3以上を目指しました。また室外環境や敷地外環境は現状よりスコアを上げるよう努力した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
用途がすべて工場作業場用途なので対象外となる。	Q2-1は用途がすべて工場作業場用途なので対象外となる。Q2-2の耐用性・信頼性についてはできる限りレベル3以上を目指し、Q2-3の対応性・更新性については作業場なので機械設備等の配置変更がきくように計画しました。	Q3-1 現状の敷地から緑地も増やし計画しているが、今後の建物計画する場合、スコア上げるよう検討していきます。 Q3-3-1-IV 防犯性の配慮 : 防犯カメラにて主要部分を
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
倉庫等の照明設備については適切な照度の器具を配置した。今後は運用についても効率的するように検討していきます。	今後、再利用等の検討していきます。	LR3 3.3.1屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策について 2) 広告物照明 : 現状計画はありません。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0027

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	東京インキ㈱大阪工場第Ⅱ工場						
	建設地	枚方市春日野町1丁目						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						1	
③	建物の断熱性						評価対象外	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	1
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	1.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		—
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.7	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		